



問 ところめの里一志のパターゴルフ場廃止と跡地利用の考えは

ところめの里一志のパターゴルフ場は平成9年3月にオープンし、複合施設の一部として機能の目的を果たしてきた。しかし、昨今「高い維持管理費、使用頻度・収入を考えた時、多くの市民のための施設に」等の声を多く聞く。また、令和4年8月の地域懇談会でも「浸水想定区域内にあり築50年経過のコスモス作業所を早期移転・早期着工を望む」等の声もあり、今後の考えを問う。

答 年度末に廃止し、コスモス作業所の移転先として予定している

パターゴルフ場は、利用者が年々減少しており、直近5年間において、平均年間利用者数は473人で、年平均約215万円の赤字が発生している。また、維持管理経費が年々増加していることに加え、開設以降、施設の更新が行われておらず、再整備には多額の経費が必要となることから、令和5年3月31日をもって廃止することとしている。

なお、パターゴルフ場の跡地については、令和4年10月28日に開催された会議において、障がい福祉サービス施設敷地として民間事業者に譲渡する方向性について承認されたことから、コスモス作業所の移転先として予定している。

その他の質疑・質問

- 市長に問う
- 就任以降誇れる実績や苦労した事業等は
- 未来に向かっての課題や想いは
- ポートレース事業について
- 現在の経営状況や事業の計画等について
- 公民館の充実について
- 使用状況の地域格差や減免の扱いについてなど

▶
年間約215万円を赤字計上している、ところめの里一志のパターゴルフ場



問 海浜公園内陸上競技場の整備は安心・安全な別の場所に

海浜公園内陸上競技場は、安濃川と海岸に近く、豪雨による河川氾濫時の浸水が3m未満、震度6強の地震による津波が5mと想定され、液状化の恐れが懸念されている区域にある。

今回の整備を計画している現在の場所は災害リスクが大変大きい場所であるので、利用者の安心・安全が確保できる別の場所にて早急に整備すべきと考えるが、どうか。

答 現在の場所でないと再整備は困難と考える

海浜公園内陸上競技場付近の海岸堤防は、国の直轄事業により、かさ上げ工事が実施され、平成23年度に堤防高6mの整備が完了している。

津波や洪水のおそれがある場合は、堤防の有無にかかわらず、人命を最優先に考え、避難誘導マニュアルの検証を行いながら、よりの確な避難ができるよう対応していきたい。

陸上競技場はトラックだけでなくスタンド等も必要となるが、他の市有地には陸上競技場を設置できる平坦で広大な面積を有する適当な土地はなく、競技場配置に係る方位においても規定があり、現在の場所でないと再整備は困難と考える。

その他の質疑・質問

- 屋内総合スポーツ施設サオリーナについて
- 令和版営農会議について
- 人口減少対策会議について
- リニア中央新幹線調査事業について
- 市営浄化槽事業について
- 県道草生窪田津線について

など

▶
整備計画されている海浜公園内陸上競技場

